# オープンCAE

# DEXCS-OpenFOAMの紹介

株式会社デンソー 開発部 野村悦治 今川洋造

オープンCAE「DEXCS」

⇒2007/10より公開中

ADVENTUREによるお手軽なCAE環境です。



## DEXCSの構成

Linux(Ubuntu)上に、構造解析にADVENTUREを活用し プリポスト機能を統合したCAE環境を構築する。 これを、CD起動形式や仮想PC起動形式で公開



File モデル作成 メッシュ作成 境界条件 物性値 ソルバー 可視化 ヘルプ

### オールインワンのCAEシステムとして構成 以下のワークフローで解析を実行

- File(作業用フォルダの作成)
- 2: モデル作成(Blenderによるモデル作成)
- 3: メッシュ作成(変換ツールの利用)
- 4: 境界条件(bcGUIによる支持と荷重の設定)
- 5: 物性値(弾性係数などの設定)
- 6: ソルバー(ADVENTUREによる弾性解析)
- 7: 可視化(ParaViewによる応力分布図や変形図)

朱書の部分は ADVENTUREを利用 オープンCAE: DEXCS (デックス)



拡張性を持つ設計支援用解析システム
Digital Engineering on eXtensible Computing System

- ■CD起動や仮想PC上にオールインワンのCAEを実現 様々な起動方法に対応する
- ■数値解析を中心に高機能のプリポストを備える 構造解析や流体解析に対応する
- ■教育研修を対象のCAEとして基本機能を実現する 大規模弾性解析の並列処理に対応する
- ■企業内実務での適用・拡張も可能







弹塑性、大変形

構造解析 Adventure 線形弾性

Ver-1.4.1

流体解析

'09/2

OpenFOAM

Ver-1.5.x

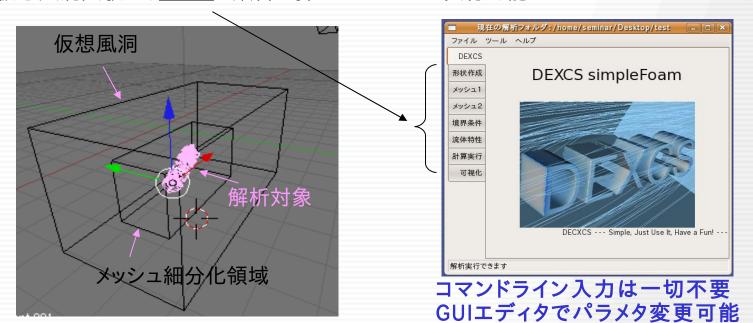
'09/7

本日紹介



仮想風洞試験が、ボタンを順番に押していくだけで実行可能

simpleFoam: 定常非圧縮流れ解析 (k-ε 系乱流モデル使用可能)



(パラメタファイルの収納場所・名前を知らなくとも、 解析シーン毎にボタンを順番に押していけばよい)

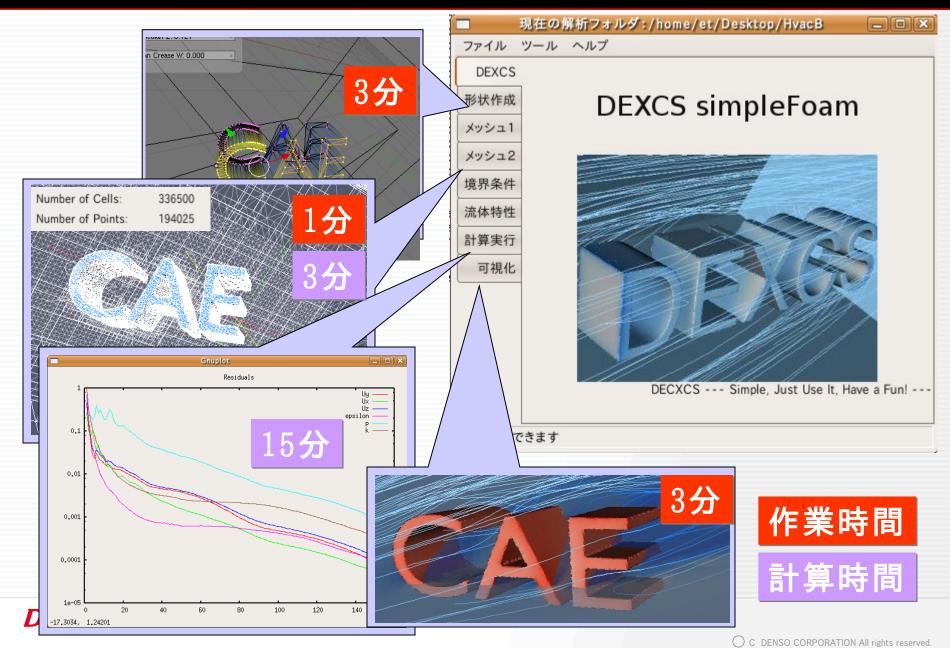
- ・解析対象の3D形状データを、メッシュ細分化領域に収納できるよう、スケール、配置を調整し、 所定の場所・名前のSTLファイル(mesh2/constant/triSurfaces/dexcs.stl)で保存
- ・実機のスケール変更に応じて、流入風速、動粘性係数を変更し、レイノルズ数を合致させる
- ・仮想風洞のサイズ・形状変更、境界条件種別の変更も可能。(blockMeshDict, createPatch)
- ・メッシュ細分化領域のサイズ・個数の変更も可能(blockMeshDict ExporterGUI, snappyHexExporter)
- ・メッシュサイズ変更も所定のパラメタファイル(blockMeshDict, snappyHexMeshDict)直接編集で対応可能

テンプレートケースの変更もメニュー選択可能(ただしDEXCS方式ケースファイル名)



# DEXCS2009-OpenFOAMの特徴

- OpenFOAMのインストール不要
  - VMwareプレーヤーは事前に要インストール
- OpenFOAMの全機能利用可能
  - コマンドライン入力
- ・形状データさえあればチャチャッと解析可能
  - 自動メッシュ作成⇒定常非圧縮性乱流解析
  - コマンド入力不要(上記機能限定)
  - 設定ファイル探し不要(同上)
  - GUIエディタでパラメタ変更



#### OpenFOAMをチャチャッと使いこなす為のツール

#### OpenFOAMの固有ユーティリティ

blockMesh,autoPatch,createPatch,snappyHexMesh

**pyFoam** (http://openfoamwiki.net/index.php/Contrib\_PyFoam<mark>オール・イン・ワン組み込み</mark> pyFoamPlotRunner.py,pyFoamClearCase.py pyFoamPotentialFoam.py, pyFoamCreateBoundaryPatches.py

#### blender用Script

BlockMeshExporter GUI
(http://nikwik.webfactional.com/public.html)
NamedASCII Export STL

DEXCS固有ユーティリティ

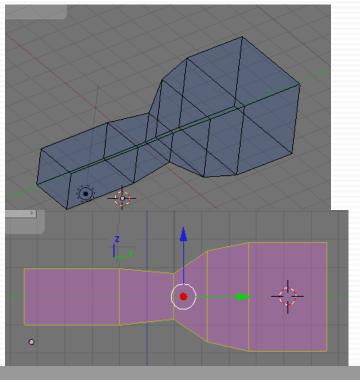
snappyDictExporter.py

煩雑なコマンド&パラメタ入力 ⇒ボタン1発起動

ユーザーの好みに応じて 組み込みや組み換えが可能

# BlockMesh Exporter GUI

情報出所 http://openfoam.cfd-online.com/cgi-bin/forum/show.cgi?1/10398
Script開発元 http://nikwik.webfactional.com/public.html
使用法解説 http://mogura7.zenno.info/~et/xoops/modules/wordpress/index.php?p=164

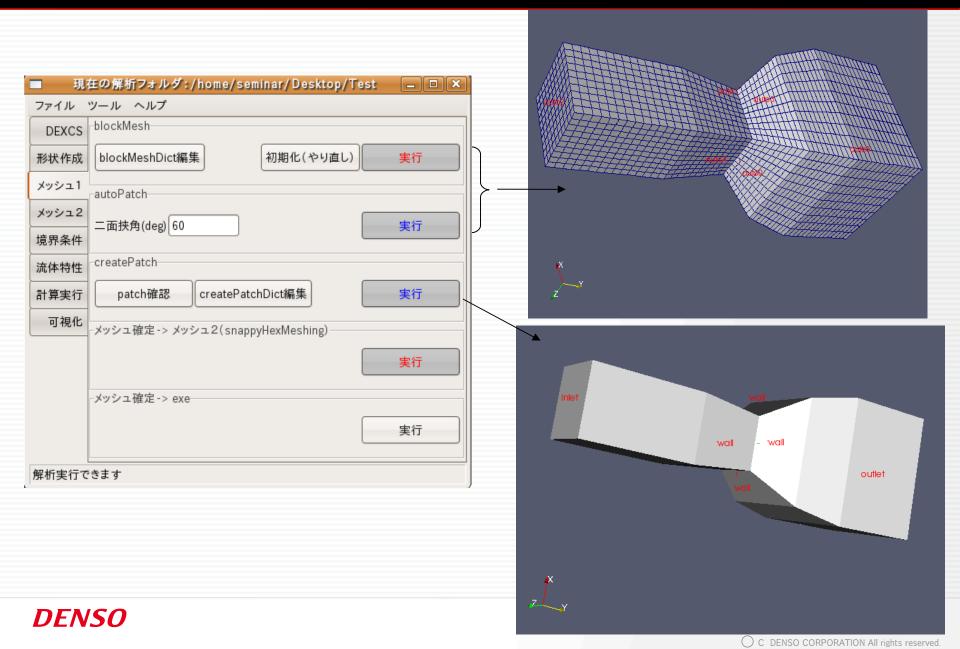


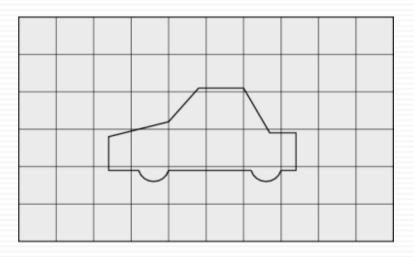
```
/home/seminar/ãã¹ã⁻ããã/blockTes
                                   Read blocks
                                                     Read points
        Write points only
                                   Info: 24 points collected
        Remove doubles
 Register block
                                    x-res: 10
                                                   y-res: 15.

    z−res: 10

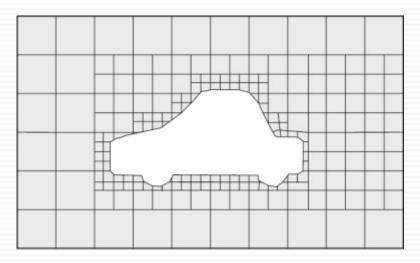
          Write to dict.
                                                       Index: 4
          Clear blocks
 Write and quit
                  Quit, no write
                                                                    Triangle normal
```

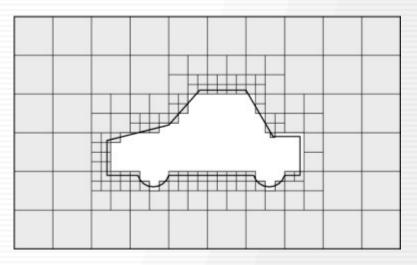
```
blockMeshDict
       (-1.920000 3.726271 -1.920001) // 12
       (-1.920001 3.726271 1.919999) // 13
       (1.920000 3.726272 1.919999) // 14
       (1.920000 3.726270 -1.920002) // 15
       (1.920000 6.579221 1.919998) // 16
       (-1.920001 6.579218 1.919999) // 17
32
       (1.920000 6.579219 -1.920003) // 18
       (-1.920000 6.579218 -1.920001) // 19
       (-1,000001 -4,460638 1,000001) // 20
       (1.000000 -4.460639 1.000000) // 21
       (-1.000001 -4.460639 -0.999999) // 22
37
       (1.000000 -4.460639 -0.999999) // 23
38);
39
40 blocks
41 (
42
       hex (22 23 6 2 20 21 7 3) (10 15 10) simpleGrading (1 1 1)
43
       hex (2 6 5 1 3 7 4 0) (10 10 10) simpleGrading (1 1 1)
44
       hex (1 5 11 10 0 4 9 8) (10 10 10) simpleGrading (1 1 1)
45
       hex (10 11 15 12 8 9 14 13) (10 10 10) simpleGrading (1 1 1)
46
       hex (12 15 18 19 13 14 16 17) (10 15 10) simpleGrading (1 1 1)
47
48):
49
50 edges ():
51 patches ():
52 mergePatchPairs ();
```



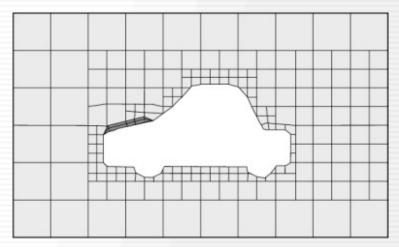


1.基礎メッシュ(blockMesh)



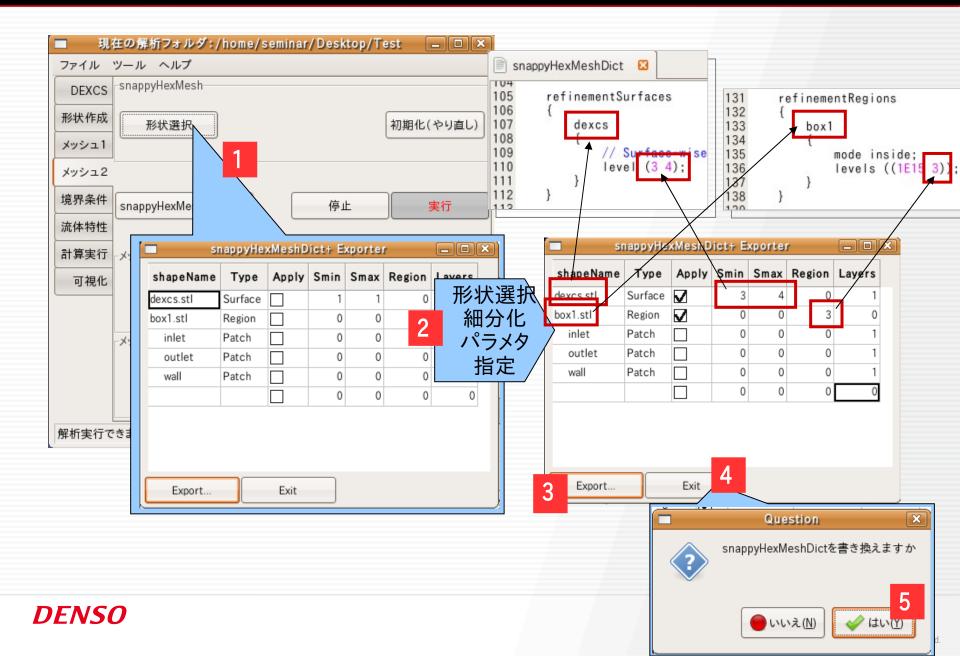


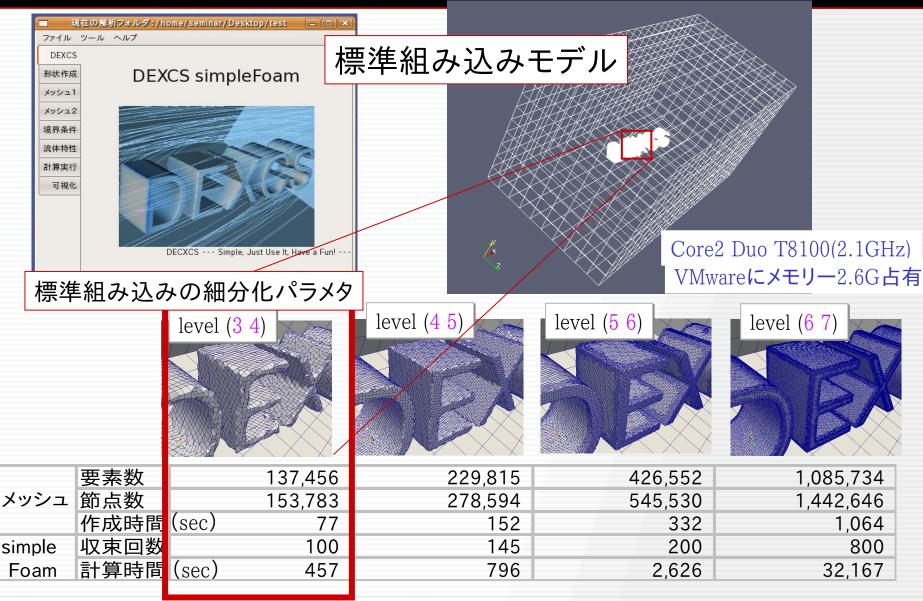
2.外形のトレース(castellatedMesh)

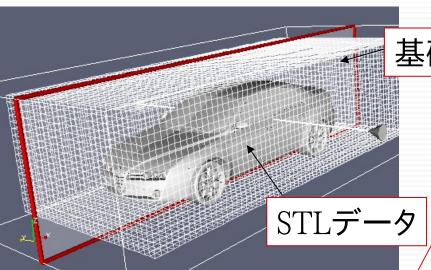


3.外形に合わせてセル変形(snappedMesh) 4.レイヤーの挿入(addLayers) **DENSO** 

# SnappyHexMeshDict Exporter GUI



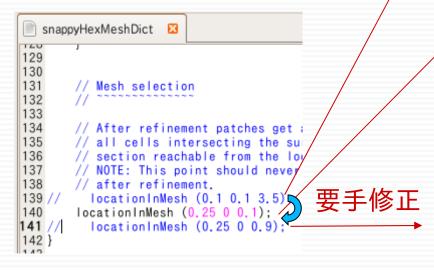


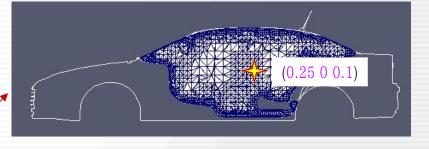


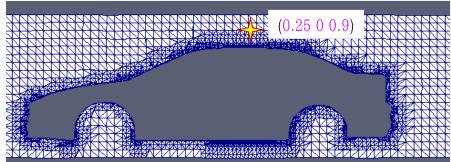
基礎メッシュ

```
デフォルト設定値 (0.1 0.1 3.5)···領域外部
点
```

⇒snappyHexMesh実行時エラー







# 内部+外部流れ問題

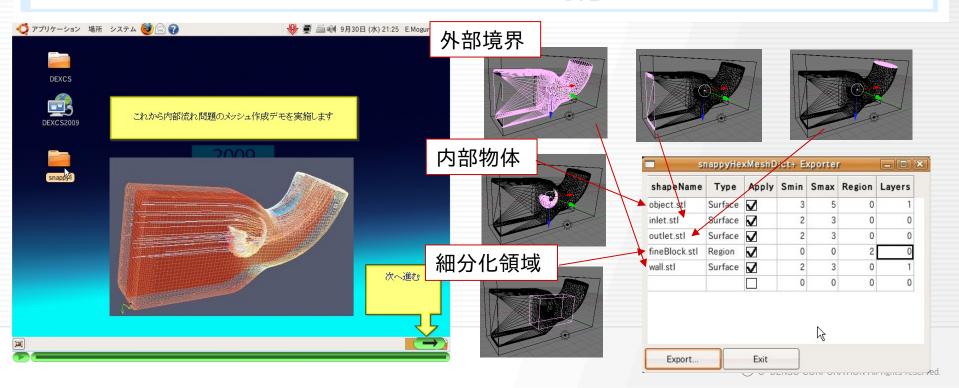
http://dexcs.gifu-nct.ac.jp/pukiwiki/index.php?DEXCS2009-OpenFOAM%A4%C7%A4%CE %C6%E2%C9%F4%CE%AE%A4%EC%B2%F2%C0%CF

#### 内部流れ問題でのsnappyhexmeshの作成方法(DEXCS2009-OpenFOAM) †

DEXCS2009-OpenFOAMに付属の標準チュートリアル問題では、流体領域の外部境界はblockMesh⇒aitoPatch⇒createPatchという手順で作成してありましたが、本例では、外部境界も自由曲面のSTLファイルから作成し、いわゆる自由曲面の内部流れの問題を解く例題となっています。

- モデルは 🖨 model1.zip
- WinkチュートリアルはDEXCS2009-OpenFOAMでの内部流れ解析

流体領域の外部境界を、境界条件の種別に応じて、それぞれ別のSTLファイルとしてエクスポートしておきます
†

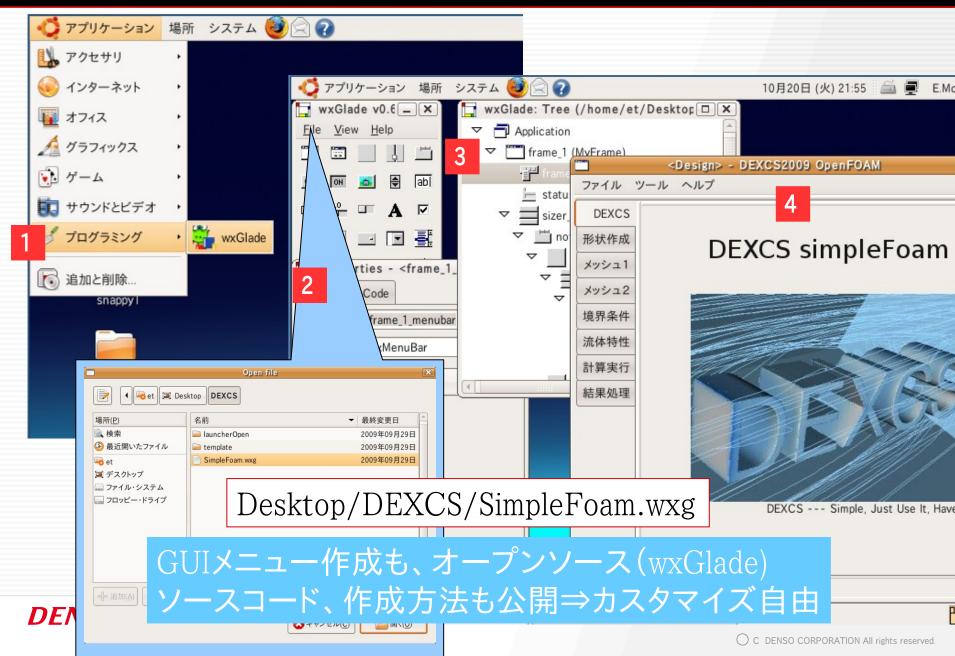


### ■使える(使っています)

生で使える人間はほんの少数 1つのアプリ(OpenFOAMなど)だけでは効果小 (安くても手間がかかりすぎて仕事に使えない) オープン分野の様々なテクニックを併せて活用

### ■カスタマイズが必要

用途、ユーザーを特化し、カスタマイズ費用をいかに抑



### ■使える(使っています)

生で使える人間はほんの少数 1つのアプリ(OpenFOAMなど)だけでは効果小 (安くても手間がかかりすぎて仕事に使えない) オープン分野の様々なテクニックを併せて活用

#### ■カスタマイズが必要

用途、ユーザーを特化し、カスタマイズ費用をいか に抑えるかが普及の鍵 オープンコミュニティに期待